

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	農事組合法人 志賀高原培養センター生産組合					
代表者名	氏名	秋山 秀樹	役職名	組合長		
主たる事務所の所在地	長野県下高井郡山ノ内町大字佐野字北原1275					
主たる事業の分類	大分類	A 農業、林業				
	中分類	01 農業				
主たる事業の概要	えのきたけ培養基製造(培養部) えのきたけ栽培・出荷(栽培部) えのきたけ包装(パッケージ部)					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外(任意提出)の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	615.15	589.96	607.33		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	1,244.16	1,199.40	1,225.66		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	15		15		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022 年度～	2022 年度
報告対象年度	2022	年度			

3 計画書(報告書)の公表方法等

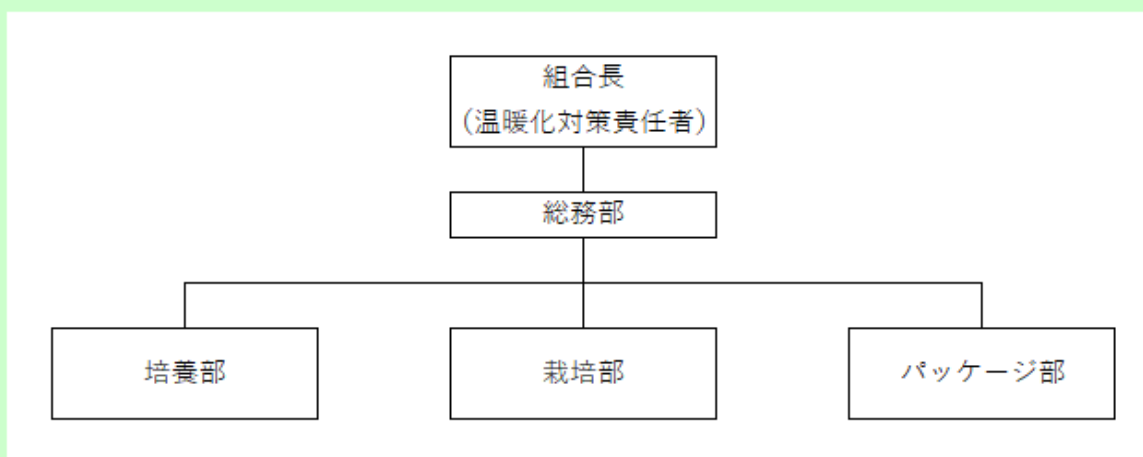
<input type="checkbox"/>	ホームページ	【閲覧可能場所】 志賀高原培養センター生産組合 山ノ内町大字佐野字北原1275 【担当部署】 培養部 【閲覧可能時間】 9:00～16:00 【連絡先】 TEL 0269-31-1105
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

現在使用中の冷凍機を最新型の省エネ冷凍機に更新する事で、冷凍能率を向上させ、CO2排出量を削減する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

温暖化対策推進会議（月一回）

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1,244.16	t-CO ₂	延べ床面積	33.33	単位	百平米
2021年度	調整後排出量	1,244.16	t-CO ₂	基準原単位	37.32	t-CO ₂ /	百平米
目標年度	目標排出量	1,199.40	t-CO ₂	目標原単位	35.98	t-CO ₂ /	百平米
2022年度	目標削減率	3.59	%	目標削減率	3.59	%	
目標設定に関する説明	排出量と原単位を3%削減する。						
第一年度	排出量	1,225.66	t-CO ₂	延べ床面積	33.33	単位	百平米
	削減率	1.48	%	原単位	36.77	t-CO ₂ /	百平米
2022年度	調整後排出量	1,225.66	t-CO ₂	原単位削減率	1.47	%	
	削減率	1.48	%				
排出量等の増減理由	半導体部品の不足をきたし、納期が遅延したため、冷凍機の更新が2023年6月にずれ込んでしまった。2022年については電力量の削減が計画通りにいかなかった。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
—年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
—年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330204	冷凍機の更新	2022	44.76		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	49.5	0	49.5		

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	1,244.16	2	1,225.66				
合計	2	1,244.16	2	1,225.66				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	15	15		
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	取引先への訪問時は、積極的に公共交通機関を利用している。
自転車通勤の利用促進	通勤で、自転車通勤が可能な従業員は自転車を使用している。従業員10人が自転車通勤。
来客者の交通対策	駅から近い事業所（パッケージ部）には電車を使用していただく。
物流の合理化	パッケージセンターに包装施設を一括化する事で、出荷先（JA集荷センター）への輸送の合理化を図っている。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	植物由来包装フィルムの使用によるSDGsの取り組み。		2021

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルを設置し、環境にやさしい電力発電に寄与している。 ・自社オリジナルのパッケージフィルム（えのきたけ包装フィルム）は、環境に配慮した植物由来原料のグリーンポリエチレン（サトウキビから砂糖を精製する工程で出てくる副産物）を10%配合したフィルムを使用しています。（バイオマスNo.190052）このフィルムは2021年5月から導入され、これまでに約100万袋のえのきたけが出荷されました。これは従来のOPPフィルムを使用するよりも5.5tのCO2の削減効果があります。 ・廃培地（コーンコブ廃菌床）を町内農家に使用してもらい取り組みを設立当初から継続しています。年間約500tの廃培地を町内農家（果樹・野菜・畜産）に還元しています。これにより、県外に搬出する輸送燃料の低減と、農家の化学肥料投入の低減効果と地力の向上に寄与しています。 ・計画的な最新省エネ冷凍設備の更新による、省エネルギー化の実現。
